

# 国道3号北バイパスは14年度供用へ

## 「石田橋」の上部工工事が本格化



▲須屋交差点から北区四方寄町の国道3号まで1.8kmの14年度供用へ、上部工工事が本格化している国道3号熊本北バイパスの「石田橋」(延長383m)。3~4mずつコンクリートを打設しながら桁を延ばす工法が採用されている。四方寄町の葉山団地付近

### 県内幹線道路整備状況



▲国道57号瀬田・立野拡幅は、阿蘇大津ゴルフクラブ付近までの2.5kmが14年度の供用予定。この供用で全9.1kmのうち、未供用区間は2.1kmとなる。写真右は県道207号瀬田竜田線の付け替えで、立野と瀬田にまたがる比丘尼谷(びくにたに)に架かるアーチ橋の「比丘尼谷橋」(延長125m)



▲大矢野バイパスのヤマ場となるアーチ橋「新天門橋」(仮称、延長463m)は、橋台の基礎工事中でアーチが姿を現すのは15年頃の見込み

国土交通省熊本河川国道事務所管内の13年度道路予算が、前年度に比べ7割近い伸びとなるなど、公共投資の減少が続く中で、やや明るさもうかがえる県内の道路整備環境。熊本の本拠性を高める幹線道路整備のスピードアップにも期待がかかる。

熊本都市圏では14年度供用予定の国道3号北バイパスで、須屋交差点から北区四方寄町間(1.8km)にある「石田橋」の上部工工事が本格化、今年度末にも橋げたが概ね形を成す見通しだ。17年度供用を目指す天草幹線道路「大矢野バイパス」(3.3km)は今年3月、ヤマ場となるアーチ橋の「新天門橋」(仮称、延長463m)の工事に着手、現在は基礎工事前の段階で、「アーチ」が姿を現すのは15年頃の見込み。九州横断道延岡線は、嘉島ジャンクションと小池高山インター間1.8kmの今年度内供用に向け、現在ラン

南阿蘇村立野と大津町瀬田間で進む国道57号の4車線化工事「瀬田・立野拡幅」は、阿蘇大津ゴルフクラブ付近まで2.5kmが14年度の供用予定。また、県道の付け替えで架かるアーチ橋「比丘尼谷橋」や下り線の拡幅工事が進んでいる。



▲今年度内供用へ工事が大詰めを迎えている九州横断道延岡線「嘉島JCT~小池高山IC」間(1.8km)